

G20各国の農業研究機関のリーダーが集結し、各国研究機関の連携強化、国際的な共同研究の推進等を通じ、地球規模課題解決のために世界の知を結集する機会とすることを旨とする。

日程：2019年4月24日（水）～26日（金）

24日：宮城県で東日本大震災被災地の農業復興事業の視察
25-26日：ホテルグランドパレス（千代田区）で研究者会合を開催

主催：農林水産省（議長：岩永勝農林水産省顧問（国際農林水産業研究センター理事長））

参加者：G20各国の首席農業研究者・行政官

日本の参加研究機関：農業・食品産業技術総合研究機構
国際農林水産業研究センター

議題：越境性植物病害虫の研究に係る国際連携及び
気候変動対応技術の導入等



参加予定国・機関

【G20メンバー】 アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、メキシコ、韓国、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ、英国、米国、欧州連合（EU）

【G20以外の国】 オランダ、スペイン

【国際機関】 FAO（国連食糧農業機関）、CABI（国際農業・バイオ科学センター）
CGIAR（国際農業研究協議グループ）、GRA（農業分野の温室効果ガスに関するグローバル・リサーチ・アライアンス）等

4月24日（水）（宮城県）

- フィールドツアー「東日本大震災の津波被害を受けた地域における新技術を活用した農業復興の取組」視察
 - ・先端施設園芸（いちご）
 - ・乾田直播ほ場のロボットトラクターの実演

4月25日（木）（東京都）

- 「越境性植物病害虫の研究に係る国際連携」について討議

4月26日（金）（東京都）

- 「気候変動対応技術の導入に係る国際連携」について討議
- コミュニケ作成